

往生の“生”は生まれるというほかに

“生きる”という意味がある

曾我量深

暑い夏もうすぐ終わろうとしています。
夏の終わりは、風が変わり、日差しも変わり、
ほっと一息つける時でもあります。同時に、
夏の疲れがどっと出てくる時でもあります。
体調に気をつけてお過ごし下さい。

さて、お寺の山門の前には、掲示板があって、
お知らせとともに、法語を掲示します。

これは、真宗以外のどこの宗旨のお寺にでも設
置され、法語掲示されていることが多いよう
です。

この前、「お寺の掲示板グランプリ」なるも
のが開かれていることを知りました。仏教伝道
教会が、昨年より、それぞれのお寺の掲示板に
掲載している法語などを投稿して、コンテスト
をしています。

コンテストと言っても、みなさん気軽な気持
ちで、応募しているのでしょうし、高価な賞品
がもらえるようなものでもないようです。

当然、お釈迦様、宗祖の言葉はもとより、有名
人に、自分のオリジナルなものなどさまざまな
言葉で法語掲示されています。

2018年に受賞された作品を少しあげさせて
いただくと

「お前も死ぬぞ」

「つくられた幸せでインスタ疲れ

本当の幸せは写真映えしない

日常の温かさの中に光っている」

「大丈夫だよ 生きていけるよ」

「本当に神仏を拝んでいますか

欲望を拝んでいますか」

など

ぱっと見て、はっとさせられる言葉が続きま
す。

シンガーソングライターの鈴木君代さんとい
う方がおられます。

若い頃、家庭内の問題で、思い悩み、心が折
れてしまい人生を投げ出しそうになって、自殺
の本ばかり読んでいたそうです。助けを求める
かのようにお寺まわりをして、東本願寺の掲示
板の法語に出あえて救われたとのこと。

「どんな人でもすべて、あなたはあなたのま
まで救われる」。それから仏道に入って、今で
は、東本願寺の僧侶としてみ教えを伝える歌を
作詞作曲して各お寺や京都のライブハウスで歌
っておられます。

数年前、当寺に来て頂いた、同じくシンガー
ソングライターの三浦明利さんも、苦しみ悲し
みの中から、仏縁に出会い、音楽を通して、み
教えを伝える活動をされていることを思い出
します。

法語掲示ですから、お寺のご宗旨にそった
法語と思われそうですが、意外に宗祖や高僧の言葉
より、身近に感じられる言葉が、多く掲示され
ているようです。

ご縁でいくつかのお寺に立ち寄ることがあり
ましたら、お寺の法語も楽しみに覗いてみてく
ださい。 釋 法英

